

在大阪セルビア共和国名誉総領事館が協力する セルビア共和国内「修道院壁画修復プロジェクト」が完了

大日本除虫菊株式会社（KINCHO 本社：大阪市西区）代表取締役社長、上山直英が名誉総領事を務める在大阪セルビア共和国名誉総領事館（大日本除虫菊株式会社内）が支援をおこなった「セルビア修道院壁画修復プロジェクト」が完了しました。

場所：ジュルジェヴィ・ストゥポヴィ修道院ドラグティン王礼拝堂
（ノヴィ・パザルという町の高台にあります）

この修道院は、1170-71年に中世セルビア王国ネマニチ朝の創始者ステファン・ネマニャによって建てられ、今回修復した礼拝堂は1283年頃ネマニャの曾孫にあたるドラグティン王によって建立されました。セルビア中世美術を代表する修道院建築とフレスコ画を有しています。しかし、オスマン帝国に支配されて以降、14世紀末から20世紀前半まで廃墟となっていました。

今回の「セルビア修道院壁画修復プロジェクト」に対して、在大阪セルビア共和国名誉総領事館は支援に協力し、貴重な文化遺産の維持に貢献できました。このプロジェクトをご紹介いただいた、東北学院大学理事長特別補佐の鐸木道剛様および実践女子大学の嶋田紗千様に感謝いたします。

※詳細につきましては添付資料をご覧ください

<セルビア共和国とKINCHO>

殺虫剤の原料でもある除虫菊はユーゴスラビア（現セルビア共和国）が原産地です。

当社初代社長である上山英一郎は、除虫菊の用途を開発し、効率のよい除虫菊の栽培方法を考案して生産量を拡大したことから、昭和4年（1929）、時の国王アレキサンドル一世（【参考】近年「アレクサンダル一世」とも表記される）から大阪駐在ユーゴスラビア王国名誉領事の称号を贈られました。第二次世界大戦後、金鳥とセルビア共和国との親交は、一度は途絶えておりましたが、平成16年（2004）上山直英社長が、在大阪セルビア・モンテネグロ（旧ユーゴスラビア、現セルビア）の名誉総領事に就くことになりました。これは、セルビアと日本が伝統的に培ってきた友好関係を、さらに発展させたいという思いがこめられたものです。